

狛江市長

松原俊雄様

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申
(市民協働事業提案制度【市民提案型】・令和2年度提案事業)

令和2年6月15日付け狛企政発第000193号にて狛江市長より諮問のあった「市民協働事業の提案に関する事項」について、当審議会において検討を重ねた結果、別紙のとおり答申としてまとめましたので、報告いたします。

令和2年8月27日

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員

| | |
|-----|---------|
| 会 長 | 奥 村 隆 一 |
| 副会長 | 石 田 琢 智 |
| 委 員 | 大 塚 隆 人 |
| 委 員 | 島 本 和 彦 |
| 委 員 | 松 崎 学 |
| 委 員 | 平 川 亮 二 |
| 委 員 | 深 谷 慎 子 |
| 委 員 | 内 海 貴 美 |
| 委 員 | 宍 戸 泉 |
| 委 員 | 篠 宮 悠 子 |
| 委 員 | 西 智 子 |
| 委 員 | 野 口 潔 人 |
| 委 員 | 伊 東 達 夫 |
| 委 員 | 伊 藤 秀 親 |
| 委 員 | 森 早 矢 香 |

令和2年度市民協働事業提案制度（市民提案型）の提案事業について

1. 令和2年度市民提案型市民協働事業

■応募件数・・・1件

| 事業名 | 応募団体名 | 担当部署名 |
|------------------------------------|---------|-------|
| 多世代交流の小さな拠点（まちの縁側）の整備に向けたアクションリサーチ | comarch | 福祉政策課 |

※こまねアレルギーの会の応募については、提案申請辞退の申し出があり受理した。

2. プレゼンテーション及び審査会

■実施状況

日時：令和2年8月1日（土） 12時30分～

会場：防災センター4階会議室

担当：狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員（4名）

3. 審査方法・結果

■別紙審査表のとおり

※審査にあたっては、下記のとおり設定する審査点（別紙審査表参照）による基準を基に、審議会において総合的に判断した。

【審査点による基準：①・②両方を満たすこと】

①評価点合計30点の1/2となる15点×審査員数以上

②重点ポイントについては、「寄与する」等4点の部分を基準とし、12点（4点×3審査項目）×審査員数以上

4. 総括

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大状況下ということもあるが、1団体からの提案となった。提案事業については、公益性、協働性、発展性等の視点から、評価できるものであった。事業の実施においては、市においても横断的な連携が期待されることから、担当部署を中心に協働して進めていただきたい。

実施においては新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮するとともに、制度活用が進むよう継続的な制度理解の促進等を期待する。

市民協働提案事業 審査表

| | |
|-------|------------------------------------|
| 提案団体名 | comarch |
| 提案事業名 | 多世代交流の小さな拠点（まちの縁側）の整備に向けたアクションリサーチ |

◆事業について

①★**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。また、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものであるか。

| | | | | | |
|--|------|---|---|---|-----|
| 1. 大変寄与する（6点） 2. 寄与する（4点） 3. あまり寄与しない（2点） 4. 全く寄与しない（0点） | A | B | C | D | 合計 |
| <特記事項> ■ 粕江市として推進する取組みに合致した内容であり、公益性は大変高いものと考ええる。 ■ 小さな拠点、居場所は大変重要、不可欠なものがある。 ■ 一般市民が参加できる機会も用意され、かつ、行政の人も巻き込んだチームを作るということで、この活動の良い効果が多方面に波及すると予想される。地域を舞台とするということは、粕江に住む人々全員が対象となるので、公益性もあると考ええる。 ■ 今後の地域の在り方を課題としてしっかり捉えており、期待できる提案内容である。今回の提案事業はあくまで実践前の提言書どまりの物であり、どの程度まで実践を見据えた内容にまとめることができるのか課題となってくる。 | 《点数》 | | | | |
| | 6 | 6 | 6 | 6 | 24 |
| | | | | | /24 |

②**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が明確かつ適正か。

| | | | | | |
|--|------|---|---|---|-----|
| 1. 大変適正である（3点） 2. 適正である（2点） 3. あまり適正でない（1点） 4. 全く適正でない（0点） | A | B | C | D | 合計 |
| <特記事項> ■ 計画から意見集約、フォーラムまでの流れが分かりやすく、適正であると考ええる。 ■ もう少し実績、経験のデータが欲しい。 ■ まずはリサーチと現状把握が目的とのこと、知識のインプットの機会と、それについて話し合う機会がバランスよく予定されている。提案団体がメインで企画運営を行い、行政はそれに沿って会場手配や広報を担うので、役割分担も明確で適正である。 ■ 考え方としてはとても積極的姿勢を持っており、評価できる。しかしながら、市との協働部署が多にだけ、どのように協働していくのか具体的に見えない部分がある。 | 《点数》 | | | | |
| | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 |
| | | | | | /12 |

③**実現性**：事業計画は妥当であり、事業に実現性があるか。

| | | | | | |
|--|------|---|---|---|-----|
| 1. 大変実現性がある（3点） 2. 実現性がある（2点） 3. あまり実現性がない（1点） 4. 全く実現性がない（0点） | A | B | C | D | 合計 |
| <特記事項> ■ ワーキングチームと行政の役割分担が見えづらい部分があると感じたが、それ以外は実現性があると考ええる。 ■ 団体の事業としても既にスタートしているが、提案事業を今後市の支援を受けどのように進めるかが重要である。 ■ 社会学者の上野千鶴子先生を講演会にお呼びすることは、以前にも招いたことがあり、提案団体とつながりもあるということで、実施可能とのこと。都内近郊の場の見学も無理がなく、計画どおり実施できると思われる。 ■ 見学会及び住民懇談会→市民フォーラム→提言書という一連の流れは妥当と思うが、ワーキングチームの構成メンバー選定と動き方及び市や社協との連携方法が曖昧な部分があるため、結局は事務局（comarch）のメンバーの意見集約になりかねないのではないかと危惧される。 | 《点数》 | | | | |
| | 2 | 2 | 3 | 2 | 9 |
| | | | | | /12 |

④**効率性**：収支予算は妥当であり、事業に効率性があるか。

| | | | | | |
|---|------|---|---|---|-----|
| 1. 大変効率性がある（3点） 2. 効率性がある（2点） 3. あまり効率性がない（1点） 4. 全く効率性がない（0点） | A | B | C | D | 合計 |
| <特記事項> ■ 講師謝礼については著名な講師であり、多少行政の基準と合致していなくても効率性に関しては問題ないと考ええる。 ■ 効率（果）性はあるので、自分たちでもお金を作ってほしい。 ■ 講師料に費用の大半が割かれているが、これは有識者にお話しただく上では当然のことであり、その他の交通費、会場費などの経費も、可能な限り節約しており、妥当であると考ええる。 ■ 予算に関しては、フォーラムの講師謝礼に特化しており、これだけを見るとフォーラムを打ちたいための事業計画とみられてしまいがちである。フォーラムは一手段であると思うので、本来の住民の意識啓発も含め、住民懇談会や見学会等の配分もしっかり考えていく必要がある。 | 《点数》 | | | | |
| | 2 | 2 | 3 | 2 | 9 |
| | | | | | /12 |

評価点計（15点満点/個人・60点満点/合計）

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12点 | 12点 | 14点 | 12点 | 50点 |
|-----|-----|-----|-----|-----|

◆団体について

①★協働性：団体と市が協働することによって、さらなる効果が期待できる事業であるか。また、それぞれの強みを活かし、対等な立場で実施できる事業であるか。

| 1. 大変期待できる(6点) 2. 期待できる(4点) 3. あまり期待できない(2点) 4. 全く期待できない(0点) | | | | | A | B | C | D | 合計 |
|---|--|--|--|--|------|---|---|---|-----|
| <特記事項> ■行政の方針と合致していることもふまえ、対等な立場で事業を進めていただきたいという期待を込めた。 ■このような場がもっと増えなければいけない。応援して欲しいと思う。 ■すでに自立しているこの場所を拠点に、活動を今後も継続する予定とのこと、今市と協働することで、より多くの人がこの場を知り、地域のつながりを考える機会を得ることで、さらなる地域社会の発展に貢献できるとされる。 ■協働に関して、各部署と具体的にどのような役割分担をしていくのか不透明な部分や、具体的内容に不十分な部分もあるが、多世代交流の視点は安心安全の街づくりには欠かせない視点であることから、市の協働無くしては、実際に行動に移せる提案書づくりは不可能である。 | | | | | 《点数》 | | | | |
| | | | | | 6 | 6 | 6 | 4 | 22 |
| | | | | | | | | | /24 |

②実施能力：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

| 1. 大いに持つ(3点) 2. 持つ(2点) 3. あまり持たない(1点) 4. 全く持たない(0点) | | | | | A | B | C | D | 合計 |
|--|--|--|--|--|------|---|---|---|-----|
| <特記事項> ■若いスタッフが中心の団体であることから、実行力は高いものと考えた。 ■すでに西野川に場所を持ち、実践を積んでいる。社協や行政関係者とのつながりも育んでおり、コマチの場所運営に複数の粕江住民がボランティアで協力しているという事実がある。提案団体は、別途中央公民館のイベント企画・運営にも関わるなど、実績もあるので、実施能力は十分にあると思われる。 ■現事業のcomarchの立ち上げから実施に向けての取り組み経過を見ると、推測の域を出ないが実施する力はあると思われる。 | | | | | 《点数》 | | | | |
| | | | | | 2 | 2 | 3 | 2 | 9 |
| | | | | | | | | | /12 |

③★発展性：事業内容は、現状の団体の活動内容から発展性が見られるか。また、提案事業を実施することにより、団体の活動に発展が期待できるか。

| 1. 大変期待できる(6点) 2. 期待できる(4点) 3. あまり期待できない(2点) 4. 全く期待できない(0点) | | | | | A | B | C | D | 合計 |
|---|--|--|--|--|------|---|---|---|-----|
| <特記事項> ■提言書の内容により、今後の居場所づくりの指針につながることを期待する。 ■提案団体のフィールドは「地域社会」であり、人々が幸せに暮らせるまちづくりを行っている。これはある意味、永遠のテーマである。前述のとおり、提案団体はすでに拠点を持っており、今後もここを中心につながりづくり、縁側づくりに取り組んでいくとのこと。まずは街の人も行政も巻き込んだ勉強と対話の機会を設けて、より「つながりづくり」を発展させていくためには必要なステップであると考え。 ■今年度、「野川えんがわ comarch」の活動を柱に、市全体の活動への提言に広げようとする姿勢は評価できる。 | | | | | 《点数》 | | | | |
| | | | | | 4 | 4 | 6 | 6 | 20 |
| | | | | | | | | | /24 |

評価点計(15点満点/個人・60点満点/合計)

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12点 | 12点 | 15点 | 12点 | 51点 |
|-----|-----|-----|-----|-----|

評価点全合計(30点満点/個人)

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 24点 | 24点 | 29点 | 24点 |
|-----|-----|-----|-----|

うち重点ポイント合計(18点満点/個人)

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 16点 | 16点 | 18点 | 16点 |
|-----|-----|-----|-----|

【審査結果】 採択が望ましい
 本事業は、多世代交流の小さな拠点の整備に向けたモデル案をまとめ、地域共生のまちづくりの推進を目指すもので、住民同士の繋がりの希薄化など地域課題の解決に寄与するものであり、また、行政側の方針にも合致していることから、公益性が高く、協働による事業として大変意味があるものと感じる。
 事業を進めるワーキングチームについては、行政等予定しているメンバーだけではなく幅広い分野のメンバーで構成するなど、提案内容をまとめる過程での活動・事業をより整理して進めていただきたい。
 実施能力については、今年度より多世代交流の場の運営等スタートしており、意欲と積極性を感じることから期待できる。今年度の活動を土台として、行政との協働及び市民参加により、市民が活用できるモデルを提案していただくことで、多方面に波及することを期待する。

評価点

| | |
|------|-------|
| 101点 | /120点 |
|------|-------|

※基準点 60点

うち重点ポイント

| | |
|-----|------|
| 66点 | /72点 |
|-----|------|

※基準点：48点

市民協働提案事業 審査表

★特記事項

■新型コロナウイルス感染症の拡大状況のなか、人々の孤立化を防止、地域の安全や人材の活性化につながるテーマで提案されたことに大きな意義を感じた。

■30代の若き発想から出たものなので、なるべく活かしてあげたいものと思う。

■住民懇談会の参加者を集める際は、属性が偏らずなるべく多様な方がいたほうが、より地域に沿った意見が聞けると思う。

■comarchの活動は、今年度始まったばかりであり、今後どのように定着していくか未知数の部分がある。しかしながら、その活動を発展的に捉えて市全体の活動として発展させようとしている視点到意欲と積極性を感じる。また、既存の施設をも巻き込み、市の関係部署に関しても複数の部署との連携を図り事業を推進していこうとする姿勢もこれからの街づくりとして、大事な視点であり、評価できる。

★指摘すること・注意点・課題等

■懇談会やフォーラムの開催に際しては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した開催方法で実施していただくことが重要であると考えます。

最終的にまとめられる提言書は、課題の提示や行政への要望等にとどまらず、今後地域の居場所づくりを始めようとする市民に向けたガイドラインの要素を含めてもらうことで、より有効活用されていくのではないかと思います。

■ワーキングチームには、福祉関連の方ばかりではなく、飲食店経営者、不動産関係の方など、異業種の方も混ぜると、より現実的かつ目指す姿が豊かなものになるかと思う。また、地域関連の事業はマネタイズが難しいものも多く、運営者自身が疲弊する姿も多く見受けられる。運営するにはお金も必要なので、自らが稼げる手段も同時に考えていけるとよいかと思う。また、「世代を超えたつながり」の間を取り持つものとして、「趣味」「仕事」など場にプラスアルファで要素を足し、人々が自然とつながれる場づくりを目指していただけたら良いと思う。

■comarchの活動はまだ始まったばかりであり、今後の見通しや課題も整理されていない状況もあるため、今年度の活動を土台に、来年度の提言書の内容についても更に検討してほしい。特に今回の提言書はどのようなことをねらった内容になるのか、具体的な形を提案してくるのか、現時点で提出された提案書ではよく読み取れない。より具体的なものになることを期待したい。そのためには提言書を作成していく過程での活動がカギになると思われる。①ワーキングメンバーの構成について②住民懇談会の具体的内容について③市との協働と役割分担について等は具体的に市民目線で企画してほしい。考え方を示すだけであれば、行政主導の計画提案書の案（たたき台）と変わりなくなってしまう。だからこそ、是非、市民が提言する良さを生かし、今後市民団体等が新たな活動に取り組もうとするときの目安になるような、また実施につながるような提言書を作っていただきたいし、そのような視点で活動を企画していただきたい。